

先般、小川町のいくつかの建物が「県登録有形文化財」に指定されたとの新聞記事が載つていたので出かけました。

小川町といえば「和紙の町」で有名な「細川紙」として有名ですが、かつては養蚕・絹織物業が盛んだったところもあります。玉成舎は、養蚕改良を目指した養蚕伝習所として、明治中期に建築されています。伝習や品評会のほかに集会の会場としても利用され、板垣退助らが訪れた記録があるなど総じて改修されています。

2018年には飲食店などに改装されています。



先般、小川町のいくつかの建物が「県登録有形文化財」に指定されたとの新聞記事が載つていたので出かけました。

「玉成舎」から少し表通りに向かうと、田中家長創業二六〇年の老舗旅館。「忠七めし」というお茶漬けのような食べ物を販売しています。

建物の脇に、絹の保管庫だった石蔵がありました。大正始めころから絹を赤く染める「紺洗」が始まり、染色加工も発展して用いられたと考えられています。

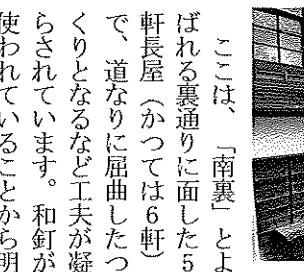
培の食材を売りにしているだけあって優しい味。また二階はエスニック風の小物やワイン・日本酒などを売るお店にもなっています。



「玉成舎」から少し表通りに向かうと、田中家長創業二六〇年の老舗旅館。「忠七めし」というお茶漬けのような食べ物を販売しています。

建物の脇に、絹の保管庫だった石蔵がありました。大正始めころから絹を赤く染める「紺洗」が始まり、染色加工も発展して用いられたと考えられています。

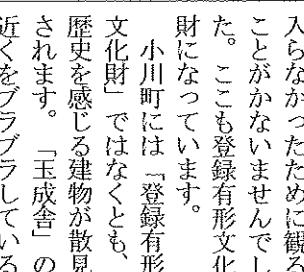
軒長屋（かつては6軒）で、道なりに屈曲したつくりとなるなど工夫が凝らされています。和釘が使われていることから明治時代前期に建てられたと推定され、町場を支えた人々の生活の一端を垣間見ることができます。



「玉成舎」から少し表通りに向かうと、田中家長創業二六〇年の老舗旅館。「忠七めし」というお茶漬けのような食べ物を販売しています。

建物の脇に、絹の保管庫だった石蔵がありました。大正始めころから絹を赤く染める「紺洗」が始まり、染色加工も発展して用いられたと考えられています。

小川町には「登録有形文化財」ではなくとも歴史を感じる建物が散見されます。「玉成舎」の近くをブラブラしていると、洋館風の家や二軒長屋のような変わった家、りっぱな門の家に出くわします。かつての繁栄を思われる味わい深い町でした。



ちよこっと旅



屋という古い建物があります。

で有名で、山岡鉄舟が名付親だそうです。会席料理の最後に忠七めしが出ます。黒澤明、向田邦子らが愛した料理です。

この旅館の中に「六六亭」という建物があります。残念ながら旅館内に入らなかつたために観ることができませんでした。ここも登録有形文化財になつています。



クロスワードパズル

A~Hの8文字を順につなげてください。その8文字の言葉が答えです。

新春恒例



タテのかぎ

- 1 「私はその人を常に先生と呼んでいた。」小説。始まる夏目漱石の名など。
- 2 会社名・商品名などデザインで表現したもの。
- 3 昆虫の分類上の用語。紙魚目と書く。
- 4 □□□が通れば道理がひつむ。
- 5 オーストラリアの一部にしかいない貴重な哺乳類。でも可愛くて超有名。8虚無的。
- 6 現実。写実。
- 7 □□で鯛を釣る。
- 8 大都市の居住人口が中心部から郊外に移る人口配置。□□□化現象。
- 9 材木の表面を削って滑らかにする大工道具。
- 10 □□□にやさしい。□□□等。
- 11 榎木県の市。厄除けのお寺とラーメンで有名。

ヨコのかぎ

- 1 ローマに造られた野天の巨大な円形闘技場。遺跡が観光名所になっている。
- 2 クサソテツのこと。若芽が山菜として珍重される。
- 3 □□□モーターカー。□□□新幹線。
- 4 木を見て□□を見ず。11管理的な役職にないこと。
- 5 南アメリカ、赤道上にある共和国。首都はキト。
- 6 飲食物・衣服・器具などの表面に生ずる微生物の集落の俗称。
- 7 昔は粉から作つたものだが。今はこれ。15昔の鉢柄のがおいしいのか。
- 8 「□□□もの」という動物もいる。
- 9 「□□□の異称。
- 10 陰暦5月の異称。

1 A	2	3		4		5
6				7	8 D	
B		9	10		11	
	12			13		
14			15			16
		17		18	19 E	F
20 G			C			H

A	B	C	D	E	F	G	H

出題：市教組OB山木康裕さん

解答〆切りは1月末日 抽選で3名に
図書券(1000円分)をプレゼント